

介護する方 さま側

人は すべて自分中心でいる

だから生きるといふことと思う

相手のことと自分の 考えをよとよと

現在 自由に生きる 身体

朝口をゆすぶは 手洗いの所へ行きたい

車イスで ぶさたれていると 行かれたい

運ぶさうな 足取りでいける

その時 かな

自由な 車イスを動かしたい 先には

毎朝 歩行機と係りながら 車イスを

移動し 歩く 歩行機が去る

小ターブルの工は 私の行動が去る 去る

が 行く それを移動し 元は 行く

その 元は 行く 行く

歩く 歩行機は 行く

元は 行く

自分も 去る 行く

い、 私も行く 行く

まどす かつ われる

新のよくに 不自由な人と対象として

化平が つれづれと 思うところ

介護のせめは 守る身

~~世~~あちろ方は 自分を出さず

仰とも 思うところ

その運送のつれづれと

今日も 終つた と ひとりの

介がする日は 大変だ

それの方は 毎日が

2024
12/6